



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 旭コンクリート工業株式会社

コード番号 5268 URL <http://www.asahi-concrete.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浦上 勝治

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 塚原 宏

TEL 03-3542-1201

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,412	△0.8	125	—	135	—	105	—
25年3月期第2四半期	5,454	8.5	△114	—	△98	—	△55	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	8.02	—
25年3月期第2四半期	△4.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,473	8,095	60.1
25年3月期	13,577	7,764	57.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,095百万円 25年3月期 7,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	7.50	7.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	3.6	330	127.6	340	112.5	200	17.6	15.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	13,233,000 株	25年3月期	13,233,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	85,108 株	25年3月期	85,098 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	13,147,897 株	25年3月期2Q	13,147,902 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果による円高是正、株価上昇が進み、企業業績に改善が見られるなど緩やかな回復基調にありました。しかしながら中国経済減速、米国財政問題等の懸念が存し、国内では消費税増税が及ぼす影響など不測の要因を抱え、先行きは不透明な状況となっています。

当社の関連するコンクリート製品業界におきましては、公共事業が動き出したものの震災復興関連などの地域的偏りがあり、原材料、燃料等が高騰し、同業各社間の受注競争が激しさを増す厳しい業況は変わっておりません。

当社は2013年を初年度とする「RebirthⅢ 中期経営3ヶ年計画grow up ASAHI(成長する旭へ)」を策定し、主力商品であるボックスカルバートの優位性を高める耐震性接着継手工法「TB(タッチボンド)工法」や、「ECO-C・L(エコ・クリーンリフト)工法」の普及・拡販を軸とした販売力強化を図ってまいりました。当第2四半期累計期間の売上高は54億1千2百万円となり、前年同四半期に比べわずかな減収となりました。

一方、損益面におきましては、営業利益は1億2千5百万円(前年同四半期は1億1千4百万円の損失)、経常利益は1億3千5百万円(前年同四半期は9千8百万円の損失)と黒字化いたしました。第2四半期での黒字化は、長年進めてきました合理化、新技術への取組み等が漸く成果として顕れてきたものと考えております。特に関西地区では成果が上がり、業績の改善に繋げることができました。

さらに、固定資産除却損3百万円及び税金費用等を加減算した四半期純利益は1億5百万円(前年同四半期は5千5百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(コンクリート関連事業)

コンクリート関連事業は、受注高は63億5千6百万円、売上高は53億8千7百万円(前年同四半期は54億2千9百万円)、セグメント利益は1億3千1百万円(前年同四半期は1億1千万円の損失)となりました。

①セメント2次製品部門は、受注高が30億1千6百万円、売上高は21億8千4百万円(前年同四半期は17億7千6百万円)となりました。

②工事部門は、受注高が2億1千7百万円、売上高は1億6千4百万円(前年同四半期は1億5千3百万円)となりました。

③その他部門は、工事用資材及びコンクリート製品に装着する資材等で、選別受注に努めた結果、受注高は31億2千1百万円、売上高は30億3千8百万円(前年同四半期は34億9千9百万円)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は当社が保有するマンション等の賃貸収入で、売上高は2千5百万円(前年同四半期は2千5百万円)、セグメント利益は1千3百万円(前年同四半期は1千4百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は134億7千3百万円(前事業年度末に比べ1億4百万円減少)となりました。流動資産は前事業年度末に比べ6億7千1百万円減少し89億4千7百万円となり、固定資産は5億6千6百万円増加し45億2千5百万円になりました。流動資産の主な増減は、現金及び預金の増加が6億9千4百万円、受取手形及び売掛金の減少が15億円となっております。

当第2四半期会計期間末における負債は53億7千7百万円(前事業年度末に比べ4億3千5百万円減少)となりました。流動負債は前事業年度末に比べ5億9千3百万円減少し47億2千5百万円となり、固定負債は前事業年度末に比べ1億5千8百万円増加し6億5千1百万円となりました。流動負債の主な減少は支払手形及び買掛金の減少6億6千7百万円であります。

当第2四半期会計期間末における純資産は80億9千5百万円(前事業年度末に比べ3億3千1百万円増加)となりました。主な増加はその他の有価証券評価差額の増加3億2千4百万円であります。その結果、自己資本比率は60.1%となり、前事業年度末に比べ2.9%改善致しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」と云う)は前事業年度末に比べ、6億9千4百万円増加(前年同四半期は3億7千7百万円の増加)し、当四半期末残高は13億5千8百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金収支は、税引前四半期純利益1億3千1百万円、減価償却実施額1億1千万円、売上債権の減少14億9千8百万円等の資金増加が、仕入債務の減少7億1千1百万円等の資金の減少を上回ったことにより、資金の増加は9億1千4百万円(前年同四半期は3億9千7百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金収支は、有形固定資産の取得による支出1億1千6百万円等により、資金の減少は1億1千5百万円(前年同四半期は1千5百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金収支は、配当金の支払額9千6百万円等により、資金の減少は1億4百万円(前年同四半期は4百万円の減少)となりました。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年8月9日に公表いたしました数値から変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成26年3月期第2四半期(累計)業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,148,593	3,843,049
受取手形及び売掛金	5,111,439	3,611,338
製品	1,121,372	1,186,589
原材料及び貯蔵品	111,143	134,365
その他	134,872	178,268
貸倒引当金	△8,254	△5,855
流動資産合計	9,619,167	8,947,755
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	231,741	227,851
機械及び装置(純額)	164,607	170,964
土地	1,678,262	1,678,262
その他(純額)	390,575	463,816
有形固定資産合計	2,465,186	2,540,895
無形固定資産	72,133	71,604
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223,000	1,726,696
その他	210,264	213,149
貸倒引当金	△12,088	△26,883
投資その他の資産合計	1,421,177	1,912,962
固定資産合計	3,958,497	4,525,462
資産合計	13,577,665	13,473,218
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,724,773	3,057,418
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払法人税等	34,243	32,362
賞与引当金	78,239	75,236
その他	182,134	260,899
流動負債合計	5,319,391	4,725,916
固定負債		
退職給付引当金	75,919	69,836
長期未払金	104,130	89,180
その他	313,402	492,442
固定負債合計	493,451	651,458
負債合計	5,812,843	5,377,374

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,204,900	1,204,900
資本剰余金	819,054	819,054
利益剰余金	5,490,879	5,497,729
自己株式	△44,829	△44,836
株主資本合計	7,470,004	7,476,848
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	294,817	618,996
評価・換算差額等合計	294,817	618,996
純資産合計	7,764,821	8,095,844
負債純資産合計	13,577,665	13,473,218

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,454,848	5,412,368
売上原価	5,078,672	4,776,475
売上総利益	376,176	635,893
販売費及び一般管理費	490,464	509,939
営業利益又は営業損失(△)	△114,287	125,953
営業外収益		
受取利息	2,524	2,305
受取配当金	14,563	16,014
その他	17,621	3,481
営業外収益合計	34,710	21,802
営業外費用		
支払利息	7,182	6,865
その他	11,626	5,509
営業外費用合計	18,809	12,375
経常利益又は経常損失(△)	△98,387	135,380
特別利益		
固定資産売却益	62,533	204
特別利益合計	62,533	204
特別損失		
固定資産除却損	3,236	3,941
特別損失合計	3,236	3,941
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△39,090	131,643
法人税、住民税及び事業税	8,726	28,865
法人税等調整額	7,601	△2,681
法人税等合計	16,327	26,183
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,417	105,459

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△39,090	131,643
減価償却費	92,233	110,984
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,253	△10,568
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,076	12,396
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,055	△3,003
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△12,000
受取利息及び受取配当金	△17,088	△18,320
支払利息	7,182	6,865
有形固定資産除却損	3,236	3,941
有形固定資産売却損益 (△は益)	△62,533	△204
売上債権の増減額 (△は増加)	1,198,295	1,498,192
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,610	△88,438
その他の資産の増減額 (△は増加)	△42,190	△38,939
未払消費税等の増減額 (△は減少)	796	△11,656
仕入債務の増減額 (△は減少)	△709,816	△711,134
その他の負債の増減額 (△は減少)	△23,414	69,317
小計	409,343	939,077
利息及び配当金の受取額	15,531	16,673
利息の支払額	△7,182	△6,865
法人税等の支払額	△20,099	△34,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,592	914,404
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,485,000
定期預金の払戻による収入	—	2,485,000
有形固定資産の取得による支出	△120,746	△116,478
有形固定資産の売却による収入	104,657	485
ソフトウェアの取得による支出	△1,125	—
差入保証金の差入による支出	△2,461	△515
差入保証金の回収による収入	4,143	1,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,531	△115,291
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
自己株式の取得による支出	—	△7
リース債務の返済による支出	△7,193	△7,651
配当金の支払額	△97,010	△96,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,204	△104,657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	377,856	694,455
現金及び現金同等物の期首残高	685,554	663,593
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,063,411	1,358,049

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。